

志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ「イマジン ロータリー」
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎「新たな一歩」

第2353回 移動例会

2022-12-7

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 岩下 正基 副SAA
- ◎四つのテスト 岩下 正基 副SAA
- ◎ゲスト 中曽根 康隆様（衆議院議員）
 穂坂 泰 様（衆議院議員）
 泉谷 友広様（入会見込者）
 戸國 大介様（入会見込者）
 鈴木 忍 様（入会見込者）

「会長挨拶」

会長 小林八郎



早いもので、今年のカレンダーも残すところ師走1枚のみとなりました。新型コロナウイルスの第8波が押し寄せて来ておりますが、今年も元気に楽しく年の瀬を迎えることができること、皆さまのご協力に感謝いたします。

さて、12月ということで、今年1年を振り返りますと、重大ニュースランキングでも圧倒的に1位なのが、2月に起きましたロシア・ウクライナ侵攻です。この戦争は未だ続いており、国連の不甲斐なさと、「利他の心」のなさを感ぜずにはいられません。また、ちょうど2月は、新型コロナウイルスの国内感染者数が500万人を突破した月でもありました。現在の感染者数は、2500万人超ですので、10か月の間に2000万人ほど増え、5倍になっていることが分かります。

また、自然災害もありました。2月には北海道での大雪、3月には宮城・福島で震度6強の地震が発生、9月には九州を縦断した過去



最大級の台風14号について気象庁が、「過去に例がないような暴風・高潮・記録的な大雨の恐れがある」と発表し、この台風19号による被害総額は約73億円といわれています。

さらに、自然災害ではないですが、4月に起きた知床半島沖での観光船の沈没、9月には通園バスに置き去りとなった3歳の子どもが熱中症で死亡するという悲しい事件もありました。

このような暗いニュースがあった一方で、うれしい出来事もありました。3月の北京冬季五輪では日本代表のスノーボードやスキージャンプ、スピードスケートの金メダル3個など、メダルが計18個と過去最多の記録をおさめました。

また、以前の会長あいさつでも話しましたが、8月には夏の甲子園で仙台育英高校が優勝し、高校野球の第1回大会から数えて、実に108年目にして、悲願の白河越えを初めて果たしました。

そして、今、開催中のサッカーワールドカップです。森保監督率いる日本代表は、11月の初戦で強豪ドイツに勝ち、その後コスタリカに惜敗したものの、先週12月2日のスペイン戦で逆転勝利し、決勝トーナメントへ進むことが出来ました。そして、昨日のクロアチア戦で、120分激闘の末、PK戦で惜しくも敗北してしまいましたが、日本代表が、近い将来ベスト8への壁を乗り越える道へと続く確実な一歩となり、多くの人へ感動と勇気を与えてくれたと思います。

ワールドカップといえば、元日本代表監督のオシムさんは、こんな言葉で挑戦する姿を表しています。「ピッチにはチャンスがあり、希望もある」。

私たちロータリーも、今ある環境の中で「親睦と増強」にチャンスがあると捉え、「新たな一歩」に希望を見つけたいと強く思いました。

さて、本日は、海外にも明るい中曽根康隆

代議士より日本の防衛問題についての卓話があります。お忙しい中、志木へお越し頂きありがとうございます。

皆さん、ご周知の通り、代議士は中曽根元総理のお孫さんです。清水和之会員の受け売りですが、中曽根元総理の代表的な自作の句に『暮れてなほ 命の限り 蟬しぐれ』があります。この句には「生涯一書生」として、命尽きる迄、国の為に力を尽くそうと言う強い使命感が、込められていると感じます。

ぜひとも、希望の持てる日本のために、お二人の代議士におかれましても、永田町政治という狭いピッチだけでなく、地域・日本・世界でのご活躍を祈念申し上げ、会長の挨拶といたします。

「理事会報告」(12/7分) 会長 小林八郎

1) 尾崎会員の名誉会員資格の件

尾崎会員を名誉会員に選出しました

2) 1月例会の件

1月、2月の例会は次の内容で進める

1/11(水): 通常例会

1/18(水): イニシエーションスピーチ

1/28(土): IM

2/1(水): イニシエーションスピーチ

2/15(水): 新年会・歓迎会

3) 年忘れ例会の件

入会候補者にも年忘れ例会の開催案内を送信し、参加を呼び掛ける

4) IMの件

IMは全員登録とする

5) その他

①志木市観光協会の年会費は例年通りを拠出する

②志木ロータリークラブ事務局の賞与は1カ月分を12月に支給する

③社会奉仕委員会より提案された「志木さくらフェスタ」への広告掲載を承認

「幹事報告」

幹事 吉原 正



1. 地区事務所より 4 件受信

①第 5 回会長幹事会開催案内

日時：12 月 14 日(水) 18:00～19:00

場所：朝霞市産業文化センター3F 会議室

②2023-24 年度米山記念奨学生受入れ依頼

③メルボルン国際大会日本人親善朝食会開催案内

日時：2023 年 5 月 28 日(日)

開場・受付 7:00 朝食会 7:30～9:00

会場：ジंक フェデレーションスクエア内

④地区大会プログラム訂正について

ガバナー月信 P15 にて訂正

ガバナー月信はこれまでの「冊子型」ではなく「配信型」に変更

2. ロータリーの友 2021-22 年度事業報告受信

「今月の誕生日祝」

親睦活動委員 古田征也



10 日 高野邦夫会員 17 日 武藤典夫会員

25 日 林 康雄会員 25 日 三上隆俊会員

「『ロータリーの友』記事紹介」

雑誌委員会 委員 宮原克平

『ロータリーの友』12月号記事紹介



【横組】

P5～ ジェニファー・ジョーンズ会長の話
ザンビアでのマラリアとの闘いについて

P7～ 疾病予防と治療月間特集

余り月間課題とは関係なさそうなのでお目
通しを

P15 イマドキの食の新常識

これはぜひ読んでください。

【縦組】

P4 コロナウイルスについて

特にオミクロン株の特徴について各自思い
当たる節があるかも知れません。

P9 浦和中 RC の尾崎康さんについて

この方は、尾崎豊のお兄さんだそうで彼の
死因とその後の人生の節目になったという
事が書かれています。

「卓 話」

「中曽根康隆先生講演録」

衆議院議員 中曽根康隆様

〇はじめに

先ほど会長の挨拶にもあったように中曽根
康弘は私の祖父であり、私自身は群馬 1 区選
出の衆議院議員として活動をしている。ロー
タリークラブは母方の祖父（前川昭一前川製
作所元社長）が国際ロータリー全国ガバナー
会議院議長を務め、私も祖父と共に例会にも

第2570地区 第2グループ各RC 例会日・会場・事務局一覧（順不同）

■朝霞RC 毎週(火) 12:30～13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店

事務局 048-466-3770

2353-3◇

■新座こぶしRC 第1第3(水) 12:30～13:30 ベルセゾン

事務局 090-1551-8380

志木 RC 会報



お邪魔している。今回講話をさせていただく志木ロータリークラブが所在するご当地には縁を感じている。母校は慶応義塾で、同門である慶應志木高校がある志木市、また防衛大臣政務官として訪問した朝霞駐屯地がある朝霞市。そして同期で共に国会で汗を流している穂坂泰衆議院議員の地元。彼は当選同期でも毎朝駅頭を続けている屈指の努力家で、是非みなさんも彼を頼ってほしい。このような縁もあり、今回来られたことは嬉しく思っている。

○我が国を取り巻く国際情勢～三正面の力の信奉者～

日本は周囲に強烈な独裁国家が存在し、三正面作戦の状態にある。ロシアのプーチン大統領、北朝鮮の金正恩総書記、そして中国の習近平国家主席。彼らに共通することは「力の信奉者」であり、軍拡に力を入れ、国際社会を緊張状態にしている。ロシアは今年二月にウクライナに侵攻し「力による一方的な現状変更」を押し進めている。北朝鮮は以前より弾道ミサイルを日本海方面、太平洋側に発射し続けている。中国では憲法改正により異例の3期目の国家主席となった習近平による強固で強権的な指導体制が進んでおり、台湾奪取を虎視眈々と狙っている。

○北朝鮮～ミサイル発射と我が国の対応について～

北朝鮮によるミサイル発射実験は年々その数を増しており、今年も9か月間に28発も

の発射を行った。先日には日本列島の上空を飛び越す弾道での発射があり、その危険性を増している。対応には自衛隊法82条の3「破壊措置命令」と72条の「防衛出動」の二つの対応が想定されているが、どちらも上空を通過するだけの発射では適応要件を満たしていないのが現状。高性能化するミサイルにどのように対応するかが課題である。

○中国～苛烈化する習近平体制～

北朝鮮以上にその脅威が高まっているのが中国。南沙諸島では岩礁等の埋め立てを一方的に押し進め、滑走路を備えた人工島に改造し実効支配を進めている。台湾本島への進攻を想定した軍事演習を行ったり、台湾海峡の中間線に航空機を飛行させたりと台湾情勢は緊張感を高めている。日本に対してもEEZ（排他的経済水域）内に5発のミサイルが着弾する訓練、尖閣諸島周辺海域での中国海警局船舶の航行などを頻繁に行っている。軍事力に依拠した圧力を周辺諸国にかけている状況にある。中国から太平洋を見た「逆さ地図」が示すように太平洋進出には日本の存在が大きな障害となっており、なんとか日本を突破したい思惑がある。習近平は異例の3期目の国家主席続投にあたり「勝負の5年間」と発言している。これから5年の間に台湾をめぐる状況を大きく変化させる意思の表れとみられている。

○台湾有事=日本有事～看過できない4つの理由～

台湾有事は日本有事といえる4つの大きな理由がある。①資源。我が国に入って来る資源の大半が海上輸送に依存しており、中国による台湾進攻があった際にはシーレーンが封鎖され、入ってこない事態が想定される。②巨大ブーメラン。米国、欧州と共に西側諸国として中国への経済制裁を加える際に、経済的に大きな対抗措置を取られる可能性が非常に高い。③南西諸島が手薄。これまでの我が

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

◇2353-4
志木RC会報

■新座RC 毎週(木) 12:30～13:30 ベルセン
■富士見RC 毎週(金) 12:30～13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041
事務局 049-251-6596

国の安全保障の考え方は対ソ連を前提としており、南西諸島含む西の守りが手薄になっている。④台湾在留邦人の存在。台湾には多くの日系企業を含め、日本人が約2万人いる。

(2022年9月現在) どう保護するか、避難させるかが課題。

○力の信奉者を如何にしてあきらめさせるか

対応策として3つの考え方①我が国の防衛力の抜本的強化②日米同盟の強化③多国間の連携強化があげられる。が、前提に大きな変化として「米国の『世界の警察』の終焉」があげられる。オバマ政権で米軍の海外派遣を控えていく方針が変わり、「自分の国は自分で守る」ことを覚悟していく必要がある。これまでの自衛隊の在り方、配置等が大きな転換点を迎えている。

○自衛隊を強くするために何をするのか

4つの項目があげられる。①自衛隊の士気向上。自衛隊の駐屯地・基地は著しい老朽化が進んでいる。全体の半分以上が築50年を超えており、戦前から使用している設備まで存在している。日々、国土と国民の生命と財産を守るべく汗を流している自衛隊の処遇改善をしていかなければならないのは明らか。このような施設も直していかなければならない。②継戦能力。進攻を受けた時に相手が撤退するまでの武器・弾薬を製造し続ける、防衛を続ける能力を向上させなければならぬ。③新領域への対応。陸海空だけでなく新たな領域である「ウサデン(宇宙・サイバー・電磁波領域)」などにも力を入れていかなければならない。もし有事が発生する場合は、複数領域に及ぶ多重攻撃が想定されており、対策が急務。④研究開発の強化。自衛隊の予算、研究費は先進諸外国に比べて圧倒的に少ない。日本の研究費が1900億円に対し、米国は19兆円、まさに桁違いの状況にある。常に軍事技術は発展しており、それに対応できるだけの研究、装備開発は待ったなしの状況である。

これらを実現するためには防衛の増額は必須である。周辺諸国でも圧倒的に足りていないのが現状。「戦争をする」のではなく「戦争を起させない」ために必要なものだとご理解いただきたい。

今年は我が国の安全保障戦略の要諦をなす防衛三文書「国家安全保障戦略」「防衛計画の大綱(防衛大綱)」「中期防衛力整備計画(中期防)」を同時に改定し、年末までに決まる見込み。我が国の防衛政策の大きな転換点になる。我が国の置かれている状況にご理解いただき、安全保障を考える機会になれば幸いです。ご清聴ありがとうございました。

「ご挨拶」

衆議院議員 穂坂 泰様



地元選出の衆議院議員 穂坂 泰様より一言ご挨拶

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00～ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088

2353-5◇
志木 RC 会報

「結婚の報告と挨拶」

宮原俊介会員



●出席報告 出席向上 委員長 内田栄信		
会員数41名	出席義務者38名	免除者3名
本日出席 35名	本日欠席 6名	本日出席率 89.74%
前々回 MU (9名中0名)	前々回修正出席率 82.05%	平均出席率 90.45%